

山形県酒田市の大樹さん

特別住民番号627

我が家の大樹は、小学6年の兄と4年の姉がいる三人兄弟の末っ子で現在保育園に通う年中児です。元気がいいのは取り柄ですが兄や姉に力では到底勝つことのできない毎日を送っている為調子がいいのがたまに傷です。昨日は兄、今日は姉と風見鶏のように可愛がってくれる相手を見極めるお調子者です。



さて、名前の由来ですが、私の妊娠中に話はさかのぼります。当時つわりで苦しんでいた私は、何故か・樹・に興味がわき始めたのです。観葉植物から森林浴まで気になってしまっただけでなく、といった感じでした(もちろん森林浴はしましたし、観葉植物はいくつも部屋に置いてみました)。

いざ生まれてみると三、三〇〇グラムの元気な男の子。これは「樹」にちなんだ名前を…。辞書で「大樹」と引くと…「大きな樹」というのが載っているではありませんか！しっかりと地に根をはりどっしりとした心の子になってもらいたい。「大樹」には動物や虫たちが寄ってくるようにこの子にも沢山の友達を愛する子になってもらいたい、と願ってつけてみました。

現在の大樹はお調子者ではあるものの、動物や虫を可愛がる子に成長しています。ハムスターのナナキに手から餌をやり、保育園ではだんごむしや幼虫集めに夢中です。

全国の大樹君、大樹町のみなさん、これからも我が家の大樹をどうぞよろしくおねがいます。(母)

東京都大田区の大樹さん

特別住民番号629

私達夫婦にはじめての子供が授かり、男の子だと分かった時から、ドーンとでっかく大らかに育つ様な名前にしようと「大」という字を入れることは、早くから決めていました。「大」という字には「大きく」や「大らかに」という意味があり、「大ちゃん」という響きも男の子らしく、しかも呼びやすいからです。



ちなみに写真左の次男は「航大」といいます。

そして、「大〇」にするか考えていた時に思い浮かんだのが、日立のコマーシャルの「この木何の木気になる…」に出てくるハワイの大樹でした。夫婦共々あの樹が大好きで、新婚旅行もハワイへ行き探したほどです(結局見つける事ができなかったのですが…残念)。大きな樹の回りには、たくさんの人々が集まり、木陰の下で涼み楽しく時を過ごします。この子も人々に愛され、沢山の友を持ち、そして、安らぎを与えられる人になれば…と思い「大樹(だいき)」と命名することが決まりました。

その子も今8歳になりました。名前の通り、明るく大らかに、すくすくと成長しております。(父)

東京都国立市の大樹さん

特別住民番号641

この子がもし、北海道で生まれなかったら、別の名前になっていたかもしれない。生まれるまであと3か月に迫った昨年(2019年)の正月、帰省していた札幌で妻が体調を崩し、そのまま札幌で出産を迎えることになった。

妻と長女の千裕を实家に残し、私はほとんど毎週末、職場のある東京から札幌に帰ってきた。次は男の子らしいと分かっていたのだが、さて、



名前はどうぞ。妻と話し合う機会も少ないまま、出産予定日は近づく。

そんなある夜、札幌で夢を見た。大きな木の夢だった。北大のポプラ並木だったような気がする。毎週の札幌通いが、こんな夢を見せたのだろうか。「大樹、という名前は どうだろう」妻も賛成だった。

息子には、大地にしっかり根を張った、ゆったりとおおらかな男になってほしい。小手先の器用さはいらぬ。小鳥や小さな動物たちがそのそばに安心して集えるような、大きな大きな男になってほしい。そんな思いを、大樹という名に込めた。

あれから一年半。嫌なことは絶対にイヤで、言い出したら後には引かない。デパートで抱っこしていると、下ろして歩かせろと猛烈に催促するのに、野原では、足をくすぐる草が気持ち悪いのか、抱っこしてくれとせがむ。母親の姿が見えないと、甲高い声で「ママ、ママ」と半べそをかく。大樹は気の強い甘えん坊に育ってきたようだ。

こんな大樹が、どんな木に育っていくのだろう。親の願いは願いとして、好きなように伸びていってくれてまったく構わない。ただ、この大樹という名を出生届に書き込むとき、父と母はとてうれしく誇らしい思いだったということ、いつか思い出してほしい。
(父)

北海道釧路市の大樹さん

特別住民番号646

はじめまして、我が家の長男「大樹」の命名についてお答えいたします。読み方は「だいじゅ」といいます。姉が二人いますが長女は、静香、二女は、加奈美といいます。二女は祖父が名付けましたが長女と長男は私、父親が名付けました。



大樹と名付けた由来ですが、それ程思い悩んだものではなく、生まれる前までは、また女の子かもしれないとの思いがよぎりましたが、待望の男の子でありましたが、上の子同様姓名判断等はせずに、思いついたままの名前にいたしました。

大樹とは何となく浮かんだ名前でしたが、高田に続く文字としてはバランスがとれていると思い、また、大きな樹ということで将来大きな夢をもって欲しいと考え名付けました。

また、読み方は「だいじゅ」としたのは、人並みではなく、他人からいちもくおかれる存在になって、自己の個性を発揮して夢をかなえて欲しいという意味で反対もありましたが、あえてそのまま音読みとしました。

大樹は、今年で5歳になり、幼稚園に元気に行っていますが、多くの友達と遊ぶより、一人で遊んでいることを好むようで、親(主に父親)のもくろみどおり、一風かわった子供に順調に成長しているようです。

来年、小学校入学ですが、姉弟仲良く元気に育てて欲しいと願います。(父)

北海道釧路市の大樹さん

特別住民番号649

大樹は、平成元年12月8日生まれ。名前の由来は、わかりません。何故なら大樹が一歳になる前、離婚をした為、名前をつけた祖父には二度と会う事がないからです。しかし、大樹という名前は、母親なりに息子にこんな思いを込めてつけたよ、と話をする事もあります。それは書いて字のごとく、大きな大きな樹です。大きくたくましく、力強く、ひろげた葉や枝でつくれた日影で小さな生き物たちを休ませ、風にそよぐ葉の音で人の心をなごませ、雨の日も、風の日も、どんな時にも生きている事に感謝し、成長し続ける大きな樹です。



お父さんがいなくて寂しい思いをしている事もあるかと思われまます。

名前の由来という事で、大樹本人が書かなければいけなかったのに、こんなわけで、お母さんが書いてしまいごめんなさい。

素晴らしい人生でありますように。(母)

北海道旭川市の大樹さん

特別住民番号650

このほど新聞を見て、応募させていただきました。
昭和62年4月12日正午に産声をあげました。体重3,260g、身長50.5cm。
今は小学校5年生。体重39.1kg、身長154.2cm。すくすく大きくなっています。
何故大樹とつけたかという、大地にしっかり根をはって字のごとく大きな気持をもった人間になってほしいと願ってつけました。
今はサッカー少年団に入り、夏休みも頑張って練習をしています。
まっすぐ大きな樹に育ってくれるよう頑張って大事にかけられないように育てていきたいと思っています。(父)



北海道札幌市の大樹さん

特別住民番号651

大樹という名前は、私の父方の祖父がつけてくれた名前です。祖父は、私が小さい時に亡くなっており、あまり祖父の記憶や思い出は残っていません。両親の話によると、祖父という人は、新しもの好きな性格だったらしく、大樹という名前も繁樹と大樹という二つの候補が考えられた中からこれから流行しそうな名前ということで大樹に決めたそうです。今では、子供によくつけられている名前の一つとして挙げられる名前となっており、私の祖父には、先見の明が多少あったのかと感心しています。そして、この名前に込められた意味というのは、両親から聞くところによると、大きな樹のように育てて欲しいということだそうです。私自身で名字と名前とのバランスを考えてみると、小と大、林と樹という組合せで分類ができ、縦書きにすると、ほとんど左右対称となっているため、字のバランスも考えてつけられた名前なのではないかと思っています。今となっては私の推測が正しいのかどうかはわかりませんが、両親からは、祖父と私が似ているという話を幾度もされたことがあるので、もしかすると同じようなことを考えたのかもしれない。



先にも述べましたとおり、祖父は私が幼い時に亡くなっておりますので思い出もほとんどありませんが、自分の名前を祖父につけてもらったという事実があるというだけで、祖父との深いつながりを感じますし、祖父がどのような人物であったのかということもほとんど知らないにもかかわらず、両親からは、祖父と似ているなどと言われることから、祖父との共通点を感じる時もあります。そのため、不思議と祖父という人物が身近に感じられる存在となっており、いつも自分の側で見守ってくれているような気がしています。

奈良県天理市の大樹さん

特別住民番号653

今回大樹レーシングクラブの方からお手紙を頂き、楽しそうな企画ということで、応募させて頂くことにしました。

実はつい先日北海道へ旅行へ行った際、大樹ファームへ見学に行き、その途中で、息子の名前ということもあり、大樹町で「大樹」の文字のある看板の前や駅、バス停などで記念写真をたくさんとってきたばかりだったのでお手紙を拝見させて頂いた時はすごくおどろきました。

さて息子の名前の由来ですが、主人が大樹町にある大樹ファームの生産馬であるタイキブリザードのファンだった所から来ています。ブリザードのように強く大きな人になって欲しいと思っています。よく「ダイキちゃん」と間違われますが、その度に「ダイキじゃないんです。タイキです」といつい力を込めて言い直してしまいます。大樹町は、



息子にとっても私達にとっても第二の故郷の様に思っています。先日、大雨の時大樹町を訪れた際、町のスーパーの店長さんに大変親切にして頂き一層その思いが強まりました。

毎年とはいきませんが、時間を見つけ大樹ファームに大樹町に遊びに行きたいと思えます。

遠方からではありますが、この企画の成功をお祈りしています。敬具(父)

千葉県袖ヶ浦市の大樹さん

特別住民番号666

大地に根をはった樹のように、抱擁力ある物事に動じないようになっ
てほしいと思っています。

今は、小学4年生。この夏から野球部に入り、週末練習に励んでいます。肌もほどよく焼けて健康そのものです。いつまでも元気でいてほしいと思えます。(父)



北海道釧路市の大樹さん

特別住民番号684

拝啓、この度息子が大樹町と同じ名前という事で特別住民に選ばれ、嬉しく思っております。

息子は大樹と書いて「ヒロキ」と言います。

名前の由来ですが私が中学時代の恩師に、大と書いて「ヒロ」と読む先生がおりまして、その先生は生徒からも慕われ大好きな先生の中の一人でした。又、名前も珍しかったので印象に残っております。

結婚をして子供が出来、名前をあれこれ妻と二人で考え幾つか候補がありましたが「ヒロキ」という名前が二人とも気に入り画数等を色々調べた所あまり良い字が見当たらず、その時昔の先生の事を思い出し「大」という字を入れ「大樹」と命名しました。

本人も大樹という字をととても気に入っている様です。

息子大樹も今年12歳、野球が好きで野球部に入っており、今年旭川で行なわれた全道大会に出場する事が出来ました。

私ども家族はまだ大樹町には行った事はありませんが、これを機会に家族でゆっくり寄らせていただきたいと思います。(父より)

